

インドネシアにおけるビジネス

1. 自動車: 日系メーカーのシェアが約50%。また、多くの日本企業と提携。

2. 造船: ツネイン引合はせられる?

3. スムバタ政が独裁。日本には良好

ASEAN: これから成長していくと考えられるアジアの国々

カントリーリスク: その国に進出していく上で障壁となると考えられる要因

造船: インドネシアにおいて注目されている!

ASEANの多様性: 国ごとに政治形態、宗教、人種、産業が全く異なる。

カントリーリスク: 国ごとのビジネスにおけるリスク。政治、人種、災害面などの要因からなる。

インドネシアの有望産業: 自動車と造船、航空機産業。
以前は繊維産業が重要視されていた。

○カントリーリスク... ビジネス上の課題の一つ。その国の政治、社会、経済のさまざまな問題。

○オペレーショナルリスク... その国で実際にビジネスを行うにあたって課題となることが予想される生産、販売、雇用、労働力/人権、税務、通関、法務、規制などの方面の課題。

○セキュリティリスク... その国の治安悪化、感染症、安全管理、セキュリティなどのリスク。

カントリーリスク: 何かあったときに政府が保障してくれるレート
ラオス・シャンマー/22%低い。

造船: インドネシア政府は造船業の振興を目指している。

セキュリティリスク: 治安, 感染症, 情報セキュリティのセキュリティリスクがある。